



<http://line.me/ti/p/@fctokyo>



https://twitter.com/fctokyo_express



<https://www.facebook.com/fctokyo>



<https://www.youtube.com/user/fctokyochannel>



https://www.instagram.com/fctokyo_goods

<http://www.fctokyo.co.jp>

ACTIVITY REPORT 2015

強く、愛されるチームをめざして

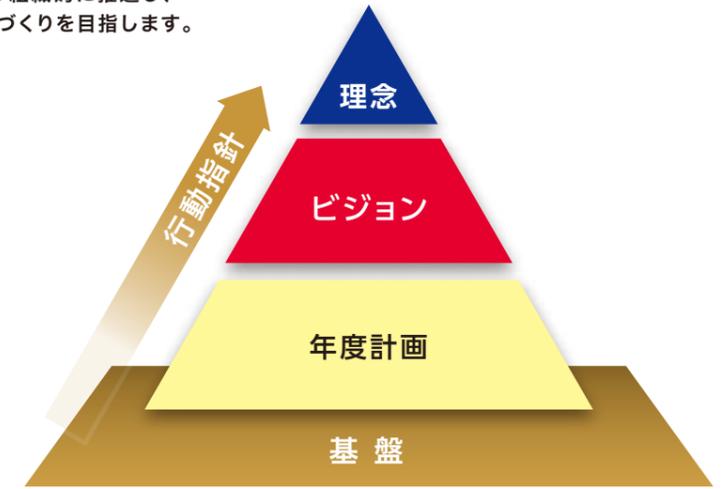
クラブ理念

BASIC PHILOSOPHY

FC東京の基本理念

次に掲げる理念の具現化を地域社会・行政・企業の協力体制により組織的に推進し、長期的な視点から真の「都民のための地域密着型Jリーグクラブ」づくりを目指します。

- 1 サッカーを通じて青少年の健全な心身の発達および都民の健康や喜びづくりに寄与し、スポーツ文化の振興ひいては地域社会の発展、国際交流・親善に貢献する。
- 2 将来的には、サッカー以外のスポーツを含め、競技スポーツとレクリエーションの両分野で地域社会に貢献できるような「生涯スポーツ」を視野に入れたクラブを指向し、これをJリーグクラブの組織づくりをベースとし、その発展・拡大により実現していく。
- 3 都民のシンボルとなり、青少年に夢を与える首都東京に相応しいサッカーチームを育て、多くの都民のファンをつくり、都民の連帯感（地域社会への帰属意識）の醸成・地域社会の活性化に寄与する。
- 4 サッカークリニック・サッカースクール・各種イベントを中心に、学校や各地域におけるサッカー活動との連携・協力を図り、青少年をはじめ都民各層に対するサッカーの指導・普及活動に努める。



2015 VISION

FOR NEXT INDEPENDENCE ～次なる「自立」をめざして～

- 1 **トップチームに常に選手を輩出する育成体制の確立**
 - (1) 一貫性のある「FC東京新育成プログラム」の策定と運営体制の確立
 - (2) トップチーム、および世界で通用する選手の輩出
- 2 **J1リーグで常に優勝争いのできるクラブづくり**
 - (1) 「自立」し、人間の魅力にあふれ、世界で通用する選手・スタッフの育成体制の構築
 - (2) 攻守に支配するFC東京らしいサッカースタイルの確立
 - (3) リーグ戦制覇（ACL出場）
- 3 **満員のスタジアム、魅力的なスタジアムの実現**
 - (1) 1試合平均ご来場者数30,000人の達成
 - (2) SOCIO12,000人の達成
 - (3) 足を運びたいような魅力ある「イベント」や「飲食売店」などによるスタジアムのワンダーランド化
- 4 **「応援」「支援」していただけるファン・サポーターの拡大**
 - (1) クラブサポートメンバー20,000人&80,000口の達成
 - (2) クラブとファン・サポーターとの新たな双方向コミュニケーションの充実
- 5 **サッカーを中心としたスポーツの普及・振興および地域コミュニティの活性化への貢献**
 - (1) 子供たちが「夢」を感じ、「スポーツの楽しさ」に出会い、「自立」を引き出すサッカー普及活動の実現
 - (2) 地域スポーツの普及・振興、そして地域貢献の拠点となる指定管理者業務の拡充
 - (3) 地域コミュニティ組織としてのFC東京・市民スポーツボランティアとの協力体制の確立
 - (4) スタジアムを中心とした周辺エリア（6市）でFC東京と触れ合える活動の毎月1回以上の実施
- 6 **FC東京ブランド価値の向上**
 - (1) 「首都東京にあるプロサッカーチーム」「世界を目指しているクラブ」である知名度および評価の向上
 - (2) グッズ販売チャネルの拡大、首都東京らしいコラボグッズの展開
 - (3) 東京ドロンパの認知度向上と更なる人気向上に向けた施策の展開
 - (4) FC東京の情報発信拠点を23区内に10ヶ所設置
 - (5) クラブ独自の映像製作など新たな情報発信によるクラブブランディング力の向上
- 7 **更なる「総合スポーツクラブ」化へ向けた次のステップへの移行**
 - (1) バレーボールチームに続く、サッカー以外のスポーツなどとの連携の検討
 - (2) バレーボールチームのV・プレミアリーグでの優勝争いと普及活動の拡大

GUIDELINE

2015VISION達成に向けた行動指針と基盤

【行動指針】

- 「自立」による弛まぬ革新
- 先の読めない時代・変化する状況の中、自ら考え、課題を見出し、具体的対策を立て実行
 - そのために、関係するあらゆる人と本音で話せるコミュニケーションを実施

【基盤】

- ステークホルダーとの継続的なコミュニケーション
- 地域性（地域貢献）、社会性（社会貢献）の更なる推進
- 「青赤スピリット」の尊重
- コスト意識の醸成
- コンプライアンスの徹底
- 「人」を重視する組織運営と全員協力の姿勢
- 環境に配慮した活動

青赤スピリット

洗練された 首都東京のイメージ	伝統ある 江戸文化のイメージ
先進性	伝統の継承
先見性	礼儀・礼節・作法・道徳の継承
革新性	江戸っ子気質の継承 (粋でいなせ、洒落っ気、義理人情)
スタイリッシュ	熱い情熱
クール	

ごあいさし

日頃よりFC東京に多大なるご支援、ご声援を賜りありがとうございます。

2015シーズンは、多くのお客さまに味の素スタジアムへ足を運んでいただき、1試合平均28,784人と過去最高のご来場者数となりました。ファン・サポーターのお客さまが作り上げる熱気あるスタジアムが多くの人を惹きつけ、さらなる熱気を生むことを強く感じるシーズンとなりました。

一方、クラブ史上最多の勝点63を積み上げたものの得失点差で及ばず、リーグ戦4位にとどまりチャンピオンシップ出場を逃し、力不足を感じました。

リーグ戦では45得点で19勝と先制すればしっかりと勝ち切る勝負強さはありませんでしたが、タイトル獲得を目指し、強固な守備から攻撃に転じるサッカーを目指したシーズンとしては、まだまだ

満足いくものではありません。来季はより一層、タイトル獲得に向け、新たな体制で力を注いでまいります。

また、「育成型クラブ」として、更なるアンダーカテゴリーおよびトップチームの若手選手の強化・育成を更に推進していく所存です。具体的には、「FC東京U-23」を編成し、J3リーグへ参加いたします。より高い厳しいレベルでの若手選手の活躍にご注目いただければと思います。

最後に、2016シーズンは初のリーグ戦タイトル獲得に向けて、クラブ一丸となって戦ってまいります。

今後ともFC東京へ変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要

会社名 東京フットボールクラブ株式会社 TOKYO FOOTBALL CLUB Co.,Ltd.	所在地 [本社] 〒135-0003 江東区猿江2-15-10 [TEL]03-3635-8985 [FAX]03-3635-8974	[小平グランド] 〒187-0001 小平市大沼町3-14-1 東京ガス武蔵野苑内 [TEL]042-342-8950 [FAX]042-342-8973	[味の素スタジアム事務所] 〒182-0032 調布市西町376-3 味の素スタジアム内 [TEL]042-488-6255 [FAX]042-488-6253
創立 1998年10月1日(都民の日)	資本金 1,092,000,000円 (2016年1月31日時点)	エンブレム 	
主な事業 1. プロサッカーチーム「FC東京」の運営 (1999年よりJリーグディビジョン2に加盟) 2. サッカースクールおよびサッカーの普及活動 3. チームのオリジナルグッズの製作・販売			



東京ガスフットボールクラブを前身に、99年「FC東京」としてJリーグに参入。以来都民のためのJクラブとして、念願のリーグ戦タイトル獲得を目指しています。

■クラブの歴史

- 1935年 前身である東京ガスフットボールクラブが創部。
- 1986年 東京都リーグより関東リーグに昇格。
- 1991年 全国地域リーグ決勝大会で優勝。JSL2部へ昇格を果す。
- 1992年 JFLに加入。
- 1997年 天皇杯でJリーグ勢を3連破し、準決勝まで進出。
- 1998年 JFL念願の初優勝を飾る。Jリーグディビジョン2 (J2) に参入決定。東京フットボールクラブ株式会社を設立し、東京初のJリーグクラブが誕生。
- 1999年 ヤマザキナビスコカップでベスト4に進出。J2リーグ戦では2位の成績で、1年でJ1昇格を決める。
- 2000年 J1初めてのシーズン。1stステージ6位、2ndステージ8位。総合7位。
- 2001年 東京スタジアム(現 味の素スタジアム) 開業。2011VISION発表。
- 2004年 ヤマザキナビスコカップで決勝に進出、浦和レッズにPK戦の末勝利し、念願のクラブ初タイトルを獲得。
- 2008年 クラブ創立10周年を迎える。第32節まで優勝の可能性を残すも、J1リーグ戦6位でシーズン終了。ヤマザキナビスコカップベスト8。天皇杯ベスト4。
- 2009年 ヤマザキナビスコカップで決勝に進出、川崎フロンターレに勝利し、クラブ2つ目のタイトルを獲得。チームマスコット「東京ドロンパ」が登場。
- 2010年 J1リーグ戦で16位となり、J2降格。「2010Jリーグアウォーズ」の最優秀育成クラブ賞を受賞。
- 2011年 J2リーグ戦で優勝、1年でのJ1復帰。第91回天皇杯で初優勝、ACL出場権獲得。
- 2012年 FUJI XEROX SUPER CUP 2012に初出場。ACLラウンド16に進出。J1リーグ戦10位。
- 2014年 J1リーグ戦9位。リーグ戦においてクラブ新記録である14試合無敗を達成。
- 2015年 2ステージ制の導入。J1リーグ戦1stステージ2位、2ndステージ6位。年間4位。ヤマザキナビスコカップベスト8。天皇杯ベスト8。ACLプレーオフ出場権を獲得。

■2015年の戦績

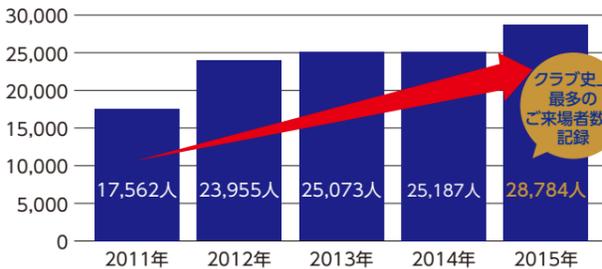
順位	チーム名	勝点	勝	引分	敗	得点	失点	得失差
【リーグ戦最終順位】								
1	サンフレッチェ広島 (チャンピオンシップ出場)	74	23	5	6	73	30	43
2	ガンバ大阪 (チャンピオンシップ出場)	63	18	9	7	56	37	19
3	浦和レッズ (チャンピオンシップ出場)	72	21	9	4	69	40	29
4	FC東京	63	19	6	9	45	33	12
5	鹿島アントラーズ	59	18	5	11	57	41	16
6	川崎フロンターレ	57	17	6	11	62	48	14
7	横浜F・マリノス	55	15	10	9	45	32	13
8	湘南ベルマーレ	48	13	9	12	40	44	-4
9	名古屋グランパス	46	13	7	14	44	48	-4
10	柏レイソル	45	12	9	13	46	43	3
11	サガン鳥栖	40	9	13	12	37	54	-17
12	ヴィッセル神戸	38	10	8	16	44	49	-5
13	ヴァンフォーレ甲府	37	10	7	17	26	43	-17
14	ベガルタ仙台	35	9	8	17	44	48	-4
15	アルビレックス新潟	34	8	10	16	41	58	-17
16	松本山雅FC	28	7	7	20	30	54	-24
17	清水エスパルス	25	5	10	19	37	65	-28
18	モンテディオ山形	24	4	12	18	24	53	-29

※松本、清水、山形がJ2へ降格。2016シーズンからは大宮、磐田、福岡がJ1昇格

節	月/日	曜日	対戦相手	スコア	会場
【予選リーグ/Aグループ】					
1	3/18	水	アルビレックス新潟	0-2-1	味の素スタジアム
2	3/28	土	松本山雅FC	△1-1	松本平広域公園総合球技場
4	4/22	水	サガン鳥栖	0-2-0	味の素スタジアム
5	5/20	水	ヴァンフォーレ甲府	0-2-1	味の素スタジアム
6	5/27	水	サンフレッチェ広島	△1-1	エディオンスタジアム広島
7	6/3	水	湘南ベルマーレ	△0-0	Shonan BMWスタジアム平塚
【決勝トーナメント】 ※ベスト8敗退					
QF1	9/2	水	鹿島アントラーズ	△2-2	味の素スタジアム
QF2	9/6	日	鹿島アントラーズ	●0-3	県立カシマサッカースタジアム

回戦	月/日	曜日	対戦相手	スコア	会場
4	11/11	水	水戸ホーリーホップ	0-2-0	味の素スタジアム
QF	12/26	土	サンフレッチェ広島	●1-2	長崎県立総合運動公園陸上競技場

■FC東京 過去5年間のご来場者数 (リーグ戦1試合平均)



1999
▲ J2リーグ戦を2位で終え、J1に昇格

2004
▲ ヤマザキナビスコカップ優勝(2回目)

2009
▲ ヤマザキナビスコカップ優勝(2回目)

2011
▼ J2リーグ戦優勝でJ1に復帰
▼ 第91回天皇杯初優勝

2015
▲ 2015シーズン



01 2015シーズン トップチーム



Jクラブ初のイタリア人監督マッシモ フィッカデンティが2年目の指揮を執った。Bello e Aggressivo! ～すべては勝利のために～をスローガンに掲げ、チーム一丸となりタイトル獲得に挑戦。

03 日本代表に6名選手が選出



SAMURAI BLUE (日本代表)の活動に権田選手、森重選手、丸山選手、太田選手、米本選手、武藤選手の6名が選出された。



05 ドイツ遠征



夏にはドイツ遠征を行い、アイントラハト・フランクフルト(ドイツ)と8月2日に親善試合を実施。2-3で敗れたもののブンデスリーガ1部のクラブとアウェイで互角の戦いを演じ、後半戦に向け自信を深めた。

07 クラブ史上最多のご来場者数を記録



多くのお客さまに味の素スタジアムへ足を運んでいただき、J1リーグ戦ホームゲーム17試合で合計489,336人(1試合平均28,784人)と過去最多のご来場者数を記録。

02 株式会社デサントとオフィシャルサプライヤー契約



株式会社デサントとオフィシャルサプライヤー契約を締結。トップからアカデミーまで「アンプロ」のユニフォームを身に着け、パフォーマンス向上にサポートいただいた。

04 選手海外移籍



武藤選手が1stステージ終了後に1.FSVマインツ05(ドイツ)へ移籍。FC東京でのラストマッチとなる6月27日1stステージ第17節清水エスパルス戦には4万人のファン・サポーターのみならず味の素スタジアムに集い、温かく見送られた。シーズン終了後には、太田選手はSBVフィッテッセ・アーネム(オランダ)へ、権田選手はSVホルン(オーストリア)へ移籍し世界へ羽ばたいた。

06 J1通算200勝を達成



9月12日2ndステージ第10節ヴィッセル神戸戦は前田選手のハットトリックで勝利を収め、J1リーグ通算200勝を達成。

08 J1リーグ年間最多勝点・最高順位を達成



2015シーズンに獲得した年間勝点は「63」。これまでの過去最高であった2008年の「55」を大きく更新した。チャンピオンシップ出場を逃すもクラブ史上最高順位の4位でリーグ戦を終えた。



ホームタウンの紹介

チームに出資いただいている三鷹市、府中市、調布市、小平市、西東京市、小金井市の6市をはじめ、東京都全域をホームタウンとし、日々活動しています。

事務所 アカデミー

A 東京フットボールクラブ(株)本社
江東区猿江2-15-10
【TEL】03-3635-8985

FC TOKYO U-15 栗川
江東区猿江2-15-10

B FC東京 小平グランド
小平市大沼町3-14-1
東京ガス武蔵野苑内
【TEL】042-342-8950

FC TOKYO U-18
小平市大沼町3-14-1

C 味の素スタジアム事務所
調布市西町376-3
味の素スタジアム内
【TEL】042-488-6255

D FC TOKYO U-15 むさし



スタジアム



フットサル場



指定管理者



FC東京・市民スポーツボランティアとは

ホームゲームの運営などをサポートいただいているみなさんです。東京スタジアム(現 味の素スタジアム)のこけらおとしでもあった2001年3月10日の1stステージ開幕戦に活動をスタートし、15年目となりました。1試合平均約80名、多い試合では100名を超える方々が活動にご参加いただき、クラブと共に“安全で快適なスタジアムづくり”に取り組んでいただいております。



VOLUNTEER



2015シーズン ホームタウン活動



地域イベント

子どもたちに人気のキックターゲットをはじめ、地域イベントを通じてホームタウンのみならず、ふれあうことで、よりよい関係づくりを目指しています。FC東京のPRだけでなく、みなさまからのご意見を頂戴することで双方のコミュニケーションを図っています。



選手商店会巡回 日頃より熱心に応援をいただいている商店会を選手が訪問し感謝を伝える毎年恒例の「選手商店会巡回」。今年は約50の商店会を訪問し、地域のみならず、激励の言葉をいただきました。



選手会小学校訪問 選手会が企画する「小学校訪問」は今年で8回目。地域の小学校を訪問した選手たちは、体を動かすことの楽しさや、夢や目標をかなえるために必要なことを子どもたちに伝えました。交流後の給食では、子どもたちから質問攻めとなりました。



6市訪問 チームに出資いただいている三鷹市、府中市、調布市、小平市、西東京市、小金井市の6市を表敬訪問しました。

駅頭チラシ配り

ホームゲーム前にスタッフがユニフォームを着て駅頭に立ち、試合告知のチラシ配りを行いました。一人でも多くの方に東京のサッカーをご愛いただきたい、スタジアムを満員にしたいという思いから取り組んでおります。スタッフにまぎれて東京ドロンバが出没することも!?



9/26調布市の日 市制施行60周年イベントとして9月26日松本山雅FC戦にて調布市PRブースを設置する「調布市の日」を実施しました。市民の方を対象とした試合招待に加え、調布図書館での活動紹介、社会福祉協議会の紹介などを行いました。



キャリア教育授業に参加 小学生のキャリア教育の講師としてFC東京のスタッフが授業を行いました。東京の子どもたちにFC東京を知ってもらうだけでなく、スポーツに関わる仕事の紹介や目標を持って努力する大切さなどを伝えました。



FC東京スポーツセミナー 指定管理者として公共施設の運営管理に携わり、地域のみならずスポーツの楽しさを感じてもらえる様々な取り組みを実施。「上井草スポーツセンター」では、親子を対象に夢・目標の大切さを考えてもらうセミナーや、クラブスタッフによる試合観戦ツアーなど各種講座を開催しました。



募金活動

台風18号災害義援金募金

9月に発生した台風18号による災害義援金募金活動を行いました。集まった義援金はJリーグを通じて被災地へ寄付させていただきました。



チャリティーオークション

11月22日サガン鳥栖戦にて各選手サイン入りユニフォームのチャリティーオークションを実施しました。落札金は「team as ONE」を通じて被災地へ寄付させていただきました。

社会貢献活動

選手招待シート

トップチーム所属の選手たちが、地域に貢献したいという思いから、福祉施設のみならずサッカーが大好きな子どもたちをホームゲームにご招待しました。



宮城県物産展の実施

7月29日ベガルタ仙台戦にて東京商工会議所と協力し、東日本大震災の復興支援活動の一環として「復興支援 宮城県物産展」を実施しました。



少年少女観戦送迎バスツアー

東京都内在住の子どもたちを送迎バス付きでホームゲームに招待する「少年少女観戦送迎バスツアー」を実施。多くの企業・団体様からCSR活動(企業の社会的責任)の一環としてご協賛いただきながら、子どもたちにサッカーの楽しさを伝え、夢を与えていただいております。



独立行政法人国際協力機構との国際交流

クラブの国際化と社会貢献を目的に2014年からスタートした、独立行政法人国際協力機構(JICA)との国際交流。今シーズンは6試合にJICA研修員を招待しました。また、9月26日松本山雅FC戦では障がいを持つ研修員の方をお招きし、日本のスポーツ施設のバリアフリー状況について体感していただきました。



「社会を明るくする運動」に協力

更生保護の考え方に理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない、明るい社会を築こうとする運動を調布市と連携し告知活動を行いました。スタジアムに告知ポスターを掲出するほか、サッカーを通じて子どもたちに夢を与え、非行防止と健全育成に役立てることを目的としてサッカー教室を実施しました。

障がいのある子どもたちのサッカー教室実施

1人でも多くの子どもたちがサッカーを通じて楽しく元気に育ってもらうために、知的障がいを持つ子どもたちを対象にサッカー教室を開催しました。

杉並区「きらきらサッカー教室」

世田谷区「わくわくサッカー教室」

調布市「にここサッカー教室」

ECO活動

緑の募金

ECO活動の一環で、ホームゲームのゴール数に応じた金額を東京都緑の募金へ寄付をしています。



リユースカップ、マイ箸

ホームゲーム時に出る紙コップや割り箸によるゴミの量を減らすため、スタジアム内では紙コップや割り箸は使用せず、リユースカップやリユース箸を使用しています。またスタッフ・関係者はマイ箸を持参してエコに取り組んでいます。



東京都との取り組み

チャレスポ!TOKYOへの協力

障がい者スポーツイベントとして最大の「チャレスポ!TOKYO」に参加し、パラリンピック競技をはじめとする様々なスポーツの体験・普及活動に協力しました。イベントでは徳永選手、奈良選手とブラインドサッカー日本代表とのトークショーや体験イベントに参加するなど、PR活動を行いました。



タイアップイベント実施

2020年に東京で開催されるパラリンピックに関連して、障がい者スポーツのPR活動を9月12日ヴィッセル神戸戦にて実施しました。青赤横丁では障がい者スポーツの体験コーナーやブラインドサッカーのデモンストレーションを行いました。



赤い羽根共同募金



トップチーム選手、U-15育成世代選手らと共に、10月17日湘南ベルマーレ戦にて東京都共同募金会および共同募金調布地区協会と共同で「赤い羽根共同募金」を行い919,100円を募金いたしました。

ヘルプマークPR協力

援助を必要としている方々のために作成された「ヘルプマーク」。東京都福祉保健局と協力して、チラシやグッズの配布など普及啓発活動を行いました。

人権啓発活動への協力

東京都人権啓発活動ネットワーク協議会と連携し、子どもや若者を中心とした年齢層向けに人権問題に関して理解を深めるためにPR活動を実施しました。

オレンジリボン(児童虐待防止シンボルマーク)普及啓発活動への協力



子ども虐待のない社会を目指し生まれた「オレンジリボン」。啓発活動のPRを東京都福祉保健局少子社会対策部と連携し実施しました。



感謝状受賞

公益財団法人東京都サッカー協会・東京都少年サッカー連盟より、東京都のサッカー少年少女の選手育成及び指導者の育成活動に対し、感謝状を頂戴しました。



育成ビジョン

FC東京は、トップチームへの優秀な選手を輩出するために、勝者のメンタリティを兼ね備え自立した選手を育成し、攻守に支配するサッカースタイルを確立します。



選手育成コンセプト

- S Speed** スピード
- P Personality** 人間性
- I Insight** 洞察力・判断力
- R Race** 競争
- I Independence** 自立
- T Technique** テクニック

サッカースタイル

- A Attack**
ボールと人が考えて動く、攻撃的パスサッカー
- T Transition**
切り替え・ハードワーク
- C Collective**
攻守にプレーが連続
運動したコレクティブなサッカー
- P Possession**
ポゼッション
(ゴールを目指す・シュートで終わる)

FC東京アカデミー出身選手※2015シーズン在籍選手



FC東京 U-18



- 平成27年度 日本クラブユースサッカー選手権(U-18)関東大会 優勝
 - 第39回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会 ベスト16
 - 2015Jユースカップ第23回Jリーグユース選手権大会 3位
 - 高円宮杯U-18サッカーリーグ2015プレミアリーグEAST 5位
 - (Bチーム)
高円宮杯U-18サッカーリーグ2015東京2部 2位
- ※2016シーズンよりT1リーグに昇格

U-18日本代表



U-16日本代表



U-15日本代表



FC東京 U-15 深川



- 第22回東京都クラブユースU-14選手権大会 優勝
- JFAプレミアカップ2015 出場
- 2015JCYインターシティカップ(U-15)EAST 7位
- 2015年度関東ユース(U-15)サッカーリーグ1部 6位

FC東京 U-15 むさし



- 第30回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 準優勝
- 2015年度関東ユース(U-15)サッカーリーグ1部 2位
- 高円宮杯U-15 第27回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会 ベスト16

サッカーを通じて子どもたちに自ら取り組む姿勢を身に付けてほしい!

FC東京では幼児から中学生までを対象としたサッカースクール、フットサルスクールを開校しています。女子限定スクールや知的障がい児向けのスクールも展開し、子どもたちにサッカーを通じて、多くの仲間と関わりながら自ら「考え」「取り組み」自分の人生をデザインしていく力を身に付けていけるよう取り組みました。

2015シーズン サッカースクール



サッカーを通じてスポーツの楽しさを伝え、老若男女問わず気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに寄与しています。各地域の行政や学校とも連携・協力を図り、幅広い活動を行いました。

サッカースクール
都内20箇所(スタッフ派遣校5校を含む)で行われているサッカースクールには約4,300名の子どもたちが在籍しています。サッカーを通じて子どもたちの人間的な成長を促し、トップチームの試合観戦やイベントを行いながら活動しています。

キャラバン隊
教育委員会と連携した「キャラバン隊」。普及部コーチが小学校を巡回し、サッカーの楽しさを伝えるだけでなく自分で考え行動できるような働きかけをしています。3回の授業を通じて子どもたちの自立心の成長が感じられる貴重な体験授業です。

キッズマッチ
味の素スタジアムでの公式戦の前には、「株式会社ジューク」にご協力いただき「キッズマッチ」を実施しました。プロの選手と同じピッチで、都内のジュニアチームやスクール生が元気いっしょにプレーしました。

おとなのサッカー・フットサル教室
大人の方を対象とした「おとなのサッカー・フットサル教室」は「観るスポーツ」としてだけでなく、実際にプレーすることで参加者の輪が広がり、交流の場となっています。また女性を対象とした「なでしこひろば」の開催回数も増え、その枠は老若男女へと広がっています。

他クラブとの交流戦
関東近郊のJリーグクラブとのスクール交流戦を開催しました。ホームだけでなくアウェイにも遠征し、多くのチームとの交流を深めることができました。

フットサル交流戦
リーグチームとの交流戦に府中フットサルスクールが招待いただきました。素晴らしい雰囲気の中、真剣なプレーで会場が盛り上がりました。

普及部コーチの活動
普及部のコーチたちは、都内の様々な場所でサッカーを通じたふれあいを行いました。対象者のニーズに合わせて、子ども向けのサッカークリニック、親子サッカー、指導者講習会など、サッカーを通じてより多くの方々を楽しんでいただく機会を作り続けています。

FC東京サッカースクールフェスティバル
FC東京の全スクール生を対象とした「FC東京サッカースクールフェスティバル」では、トップチームの選手も参加し、ミニゲーム対決を行いました。プロの選手を相手に子どもたちは必死でプレーし、楽しい時間を共に過ごしました。



バレーボールチーム

東京ガスバレーボール部を前身とし、1986年地域リーグ(東部)に初参戦。1998年V1リーグに昇格。2003年「FC東京バレーボールチーム」へ移行し、2009年V・チャレンジマッチ(入替戦)に勝利し、V・プレミアリーグ昇格。



活動方針

1 バレーボールを通じた地域貢献

バレーボールを通じて青少年の健全な心身の育成および都民各層の健康や喜びづくりに寄与し、豊かなスポーツ文化の振興に貢献します。

2 バレーボールの普及と発展

バレーボールの競技人口拡大とレベルの向上を図り、生涯スポーツとしてバレーボールを楽しめる環境づくりに努めます。

3 自立した個人の集団の創造

常に勝利を目指す自立したトップレーヤーの集まりであると同時に、社会人としてそれぞれが持つ仕事・責任を全うする「バレーボールと仕事を両立する集団」のロールモデルとなることを目指します。



2014/15シーズンの戦績

2014/15 V・プレミアリーグ男子順位表

順位	チーム名
1位	JTサンダース
2位	サントリーサンパーズ
3位	豊田合成トレフェルサ
4位	堺ブレイザーズ
5位	ジェイテクトSTINGS
6位	パナソニックパンサーズ
7位	東レアローズ
8位	FC東京

- 平成26年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 ベスト8
- 第64回 黒鷲旗 全日本男女選抜大会 ベスト8

練習場

東京フットボールクラブ株式会社
〒135-0003 江東区猿江2-15-10 東京ガス深川グランド内
TG深川体育館



チームマスコット

FC東京のオフィシャルマスコット、東京ドロンパ。その高い身体能力を活かしてピッチ内外でスタジアムを盛り上げます!!

愛称「東京ドロンパ」

1998年10月1日、港区麻布狸穴町(まみあなちょう)で生まれる。六本木と東京タワーのほぼ真ん中に位置する狸穴町、いわゆる生粋の都会っ子である。遊び場はもちろん噴水の素敵な狸穴公園。

知らぬ間にバツと現れ、ドロンといなくなることから、いつしか仲間から「東京ドロンパ」と呼ばれるようになった。東京タワーのそばに棲んでいるドロンパだから、「東京ドロンパ」というわけである。

狸の世界では誰もが認める東京ファンである。そんな彼にオフィシャルマスコット招聘のオファーが届き、チームマスコットとなった。



2015シーズンクラブスポンサー

普及活動

「バレーボールを楽しむ、もっと好きになる」「チャレンジする」をコンセプトに、FC東京バレーボールチームの選手たちによる「バレーボール教室」を2002年から開催。基本プレーを中心に、子どもたちの世代ごとの発育・発達を考慮した技術指導を行っています。2015年度は、東京都内の小学生～高校生を対象に13回実施、1,584人が参加しました。また、18歳以上の女性が対象の「駒沢スマイルクラブ」や「小金井バレーボールスクール」、小学生を対象とした「墨田バレーボール教室」など、FC東京バレーボールチーム指導専門スタッフによるレッスンも定期的に実施。その他、指導専門スタッフがチームの練習場へ赴き実地指導をする、出張指導も行っています。



2015年度 バレーボール教室開催報告

開催名称	開催日	場所	参加人数
杉並区小学生バレーボール教室	7月18日(土)	杉並区立堀之内小学校	33人
高校生バレーボールスキルアップセミナー	7月20日(月・祝)	東京電機大学中学校・高等学校	48人
江東区小学生バレーボール教室	7月20日(月・祝)	江東区スポーツ会館	143人
東京都高校生男子バレーボール教室	7月23日(木)	東京体育館サブアリーナ	55人
第1ブロック中学生バレーボール教室	7月26日(日)	立正大学付属立正中学校・高等学校体育館	265人
第6ブロック中学生バレーボール教室	7月31日(金)	TG深川体育館	168人
東村山市中学生バレーボール教室	8月1日(土)	東村山市民スポーツセンター	176人
品川区小学生バレーボール教室	8月2日(日)	品川区立小中一貫校伊藤学園体育館	100人
杉並区中学生合同部活動バレーボール教室	8月3日(月)	杉並区上井草スポーツセンター	183人
第9ブロック中学生バレーボール教室	8月4日(火)	府中市立府中第六中学校体育館	222人
第4ブロック中学生バレーボール教室	8月5日(水)	北区立明桜中学校体育館	96人
第3ブロック中学生バレーボール教室	8月6日(木)	中野区立緑野中学校体育館	70人
国分寺市小学生バレーボール教室	8月22日(土)	国分寺市民スポーツセンター	25人